



こどもの居場所の 関わり方・つくり方

関わり方

つくり方

- 1 食品・物品寄附**
こどもに提供する食事や補食、おやつのための食材寄附や文房具などの寄附が活動の支援につながります。
- 2 金銭による寄附**
こどもの居場所を運営している団体の活動の継続につながります。
- 3 ボランティア**
こどもの居場所をボランティアとして運営をサポートします。

このほか、こどもの居場所に関する相談は
(一社)さが・こども未来応援プロジェクト実行委員会 HP をご覧ください



- 1 見学してみよう**
こどもの居場所といってもさまざまな居場所があります。見学をして立ち上げたい居場所のイメージを膨らませましょう。
- 2 計画してみよう**
地域の情報を集めて、まずは地域の現状を知ることが重要です。そして、いつ、どこで、何をするのか計画を立てましょう。
- 3 開催準備をしよう**
会場の確保、会場の安全確認、協力先への依頼(学校など)、必要な保険への加入などオープンの前までに確認をしましょう。

こどもの居場所の詳しい内容については佐賀県が発行している
「さがこどもの居場所のほん」をご覧ください



こどもの居場所の取り組みを新たに検討している方へ

補助制度のお知らせ

武雄市では地域のこどもたちのためにこどもの居場所づくりに新たに取り組まれる民間団体・地域(行政区)に対し、事業の一部を補助する制度があります。

武雄市

令和6年度 武雄市こどもの居場所づくり 支援事業補助金

- 対象事業** こどもの居場所づくりの開設にかかる費用で、今年度内に事業を開始したもの。
- 助成額** 1団体につき10万円を限度とします。
補助率10/10
※予算には限りがあります。
- 問合せ先** 武雄市こどもの貧困対策課
TEL: 0954-23-9168

社会福祉協議会

エール事業 (子ども食堂の運営) 助成金

- 対象事業** 子ども食堂の運営に係る経費
- 助成額** 1事業あたり10万円を限度とします。
※予算には限りがあります。
- 問合せ先** 武雄市社会福祉協議会
TEL: 0954-26-8013



代表者 interview



遊び場が始まったきっかけは令和元年の豪雨災害があった時で、週末お母さんたちが水害の片づけをしている間にこどもたちを預かるという形で始めました。今は遊び場を毎月2回水曜日に、みんなの食堂を毎月1回第2日曜日に行っています。遊び場の日になると、こどもたちが学校から走ってきてくれて、すごく楽しみにして来てくれていると感じています。遊び場やみんなの食堂でこどもたちと一緒に過ごして、楽しそうにしているのを見るのが楽しいです。



そよぎdeごはん(みんなの食堂)、みんなの遊び場は一般社団法人おもやいさんによって運営されています。みんなの食堂は地域のお母さんたちが「やってみたい」と声を上げたのがきっかけで始まり、ボランティアには高校生や大学生も参加し、地域の交流が活発に行われています。

そよぎdeごはん(みんなの食堂) / みんなの遊び場

information

そよぎ de ごはん (みんなの食堂)		みんなの遊び場	
場所	北方町大字志久 1759 番地 (地域共生センター『そよぎ』)	場所	そよぎ de ごはんと同じ
開催日	毎月1回(第2日曜日) 11:00~15:00	開催日	毎月2回(水曜日) 14:00~17:00 (お迎え有は18:00まで)
費用	こども 無料 / 大人 300円~の寄附	費用	無料 連絡先 0954-33-0444



Aスタでは習字教室やそろばん教室、不定期に子ども食堂が実施されています。また、地域のイベントにも積極的に取り組んでおられ、春に行われる宵まつりや秋のスポーツフェスタの運営にも携わっておられます。

Aスタ寺子屋

代表者 interview



岡本 忠裕さん

Aスタの活動のきっかけは官民一体型学校の地域支援員を集めることになったのが始まりでした。居場所としての活動は毎週火曜日に習字教室、木曜日と金曜日にそろばん教室をしており、30名程度のこどもたちが学びに来ています。不登校のこどもが増えている中、こどもの居場所づくりをすることは大事だと思っています。学校の価値はあると思うので、先生ではない大人たちもしっかり支えてあげる環境を作ることが学校やこどもたちにとって必要なことではないかと思っています。

information

場所	朝日町大字甘久 1785 番地	費用	有料
開催日	週3回 15:00~18:00 (火曜日...習字教室 / 木・金曜日...そろばん教室 / 子ども食堂...不定期)		

